

民消会 現地実行委員会ニュース

Vol.01



2014.08.13

第15回民消会実行委員会

実行委員長あいさつ

全国の皆さんこんにちは。この度、第15回全日本民医連消化器研究会を開催させていただくことになりました。群馬での開催は初めてですが、これまで積み重ねてきたこの研究会の歴史を踏まえ、未来に向かってさらに発展させていけるような研究会にしたいと思います。消化器分野だけでなく医療は日々進歩しています。最先端の技術、知識はもちろんですが、民医連ならではのとりくみの報告も期待しています。多くの職種の方が参加され、参加されたすべての人が学び、楽しめる研究会にしましょう。

さて群馬といえば今年、皆さんもご存じのように「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に正式に登録されました。そこでこれを記念して文化講演を予定しています。また、オプションルツアーとなりますが製糸場の見学も検討しています。ぜひふるってご参加ください。会場は富岡製糸場への移動を考え高崎駅直結のホテルです。群馬の温泉を期待していた方には残念ですが、交通のアクセスはよいので多くの方の参加をお待ちしています。それでは来年3月、群馬でお会いしましょう。



第15回民消会実行委員長
高崎中央病院内科 佐藤 篤

参加登録・演題登録は
随時ホームページで
発信します

第15回 全日本民医連 消化器研究会 in ぐんま

2015年3月14日(土)~15日(日)

ホテルメトロポリタン高崎
群馬県高崎市八島町222 (高崎駅直結)



祝 世界遺産登録決定！ 「富岡製糸場と絹産業遺産群」



みんなで
群馬にきない！

二〇一四年六月二五日「富岡製糸場と絹産業遺産群」は世界文化遺産に登録されました。富岡製糸場とは、明治5年(1872)に明治政府が設立した官営の器械製糸場です。民営化後も一貫して製糸を行い、製糸技術開発の最先端として国内養蚕・製糸業を世界一の水準に牽引しました。また、田島家、荒船風穴、高山社などと連携して、蚕の優良品種の開発と普及を主導しました。和洋技術を混交した工場建築の代表であり、長さ100mを超える木骨レンガ造の繭倉庫や練糸場など、主要な施設が創業当時のまま、ほぼ完全に残されています。

会場から富岡製糸場までは車で40分。世界遺産見学オプションルツアーも検討中です。世界遺産へGO！

メインテーマ
「消化器医療の新たな可能性を求めて」

お問い合わせ
前橋協立病院
事務次長 遠藤賢二
〒371-0811 群馬県前橋市朝倉町828-1
TEL 027-265-3511 Mail endo@kyouritsu.or.jp